市長に聞く！市民力Ｑ＆Ａ

■なぜ市民力なのですか？

新しく政権を担うことになった民主党のマニフェストの根底にあるのは地域主権の確立です。地域の意思を尊重し、それぞれの地域が個性を発揮し、主体的な行政、政治の展開を求めています。

これはとりもなおさず、行政だけでなく市民一人一人の意欲が問われ、その意欲が大きく影響する時代であるという事です。つまり、市民力が欠かせない重要な要素、キーワードになっていくということです。

少子高齢化で税収は減り、行政にできることにも限界があります。市民と行政それぞれがやるべき事を見極めながら、市民が自覚して、自分たちの生活を切り開いていく力に負うしかない状況です。行政はそれをどう支援するか、これからはそれしかありません。このまま赤字国債を発行し続ければ国がつぶれます。持続可能な財政運営をするには市民力に負うしかないのです。

■私（記者H）は東京から矢板に来て、親切で素晴らしい人たちと知り合いました。兼ね備わっている人柄が表に出てくれれば素晴らしいまちになると思いますが…。

矢板だけでなく栃木県の県民性として、「自己表現が下手だが、いったん理解し合えると、非常に親しい付き合いができる。人情味があるが時間をかけないと懐を開いていかない」といった傾向があります。人情味や豊かな自然だけでなく、矢板にはいいところがいっぱいあるのに、長く住んでいると当たり前のように思って、気づかないで欠点や不満だけが出てきてしまう。これからはもっと足元を見て矢板の良さというものをどんどん発見し、自信を持ってもらう事が大切だと思っています。

■印象に残っている具体的な事例は？

いろいろありますが、まずは市民の力でおこなった**花火大会**でしょうか。さまざまな困難・障害を乗り越えたことが次の意欲につながっていくと思います。

また、**川崎城跡公園再生市民会議**の活動は、自分たちが自ら取り組んで発展していくその姿を見て素晴らしいと思います。

矢板武塾はリーダー養成の場ですが、それが**まちづくり研究所**の活動につながっていったし、また、**花の会**の長峰公園の美化も立派です。これらの活動を見ていると、数値では示せない広がりが出てきているのを感じます。

■市民力をどのように育て・どんなふうに発揮してもらいたいですか？

まずは情報の共有化。「今、どういうことがまちの問題になっているのか？何が課題なのか？」広報、広聴を通して、市民にどういう方法・手段を使ってこの問題を解決していくのか、知ってもらうことが大事です。

行政がやるのが当たり前だと思われていた事がこれからはそうではなくなり、自分たちの事・地域は自分たちで守っていかなければならない時代です。その自治のために、人と人のつながりが非常に重要になってきます。向こう三軒両隣の意識の復活が必要だし、これも市民力。そういう人の心を育てるのも行政の課題です。

例えば創年大学などで学び、成長していく力を地域に還元していただきたいし、そのような学習や活動の場を行政が提供すべきでしょう。

福祉、防犯、環境美化などさまざまな分野で活動展開して欲しい。行政は、そういうさまざまな活動をどのように支援するかが問われます。

■市民力を支援するための行政の具体的な方法は？

市民力を広げ、知ってもらうために市民力顕彰制度を設けています。また市民力活動を助成する制度として例えば道普請制度があります。これは必要な機械や原材料を行政が提供し、住民が自分たちの地域を自ら良くしていくための支援・仕掛けになっています。平成21年度には13件の利用がありました。また、地域の道路の美化をはかるために、道路の里親制度を設け、草刈りなどをしていただいています。

市民大学は中央の文化芸術を地方にという事で近隣の市町からも来て堪能していただいていますが、これも市民の皆さん自ら企画・運営し行政がそれをバックアップするという形になっています。

矢板武塾でのリーダー養成や、コミュニティー再生事業では、地域の人と人のつながりをつくり、自分たちの住んでいる地域を自分たちで良くしていこうという意識を育てる事だと思っています。

また、かわら版でそういった市民の反応を広く知らせる事も支援のひとつでしょう。

■かわら版の取材を通して、「市民力を求めるなら行政力というものも高めていく必要があるのではないか？」という意見をいただいた事がありますが、どうお考えですか？

私はことある事に、「市民力を育てるためには職員力が必要だ」と話しています。行政職員の意識改革ももちろん必要です。市民の福祉サービスに尽くすという基本を大事にすること。不信感があると市民力は育たないと考えます。事業仕分けではないですが、無駄や人をどんどん削っても、反面要求はどんどん増えています。そんななかで、行政は誠意を尽くすしかないし、時間をかけてやるしかないのです。

■矢板の市民が「市民力」を発揮する事で、どのような未来図が描かれると思いますか？

例えば、来年できる道の駅の運営に市民力を結集し、発揮してもらうことで、交流人口を増やし、波及効果が上がることが期待できますが、それ以外でもさまざまな分野で発揮する市民の力が、自分たちの住んでいる地域を作っていくと思っています。